

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

平成29年6月号

6人に1人が申告！

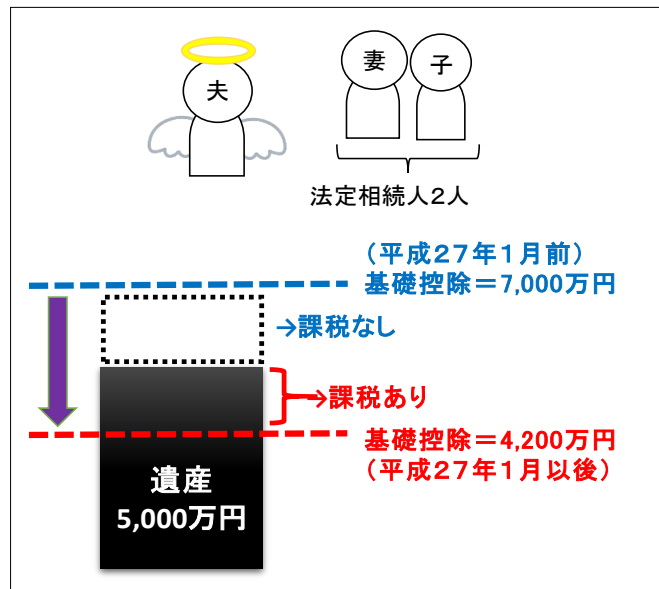
(文章：石島慎二郎)

相続税課税の強化

相続税は、遺産額が基礎控除を超えた場合に申告する可能性が出てきます。基礎控除は、「遺産があってもこの金額までは課税しません」という線引きの金額です。この基礎控除が、平成27年1月以降引き下げられました。

$$\begin{aligned} \text{基礎控除} &= \text{基本額} + \text{法定相続人の数に応じた金額} \\ \text{(平成27年1月前)} &: 5,000 \text{ 万円} + 1,000 \text{ 万円} \times \text{法定相続人の数} \\ \text{(平成27年1月以降)} &: 3,000 \text{ 万円} + 600 \text{ 万円} \times \text{法定相続人の数} \end{aligned}$$

これにより、今までと同じ遺産額であっても、課税されるケースが増えることとなります。右図はイメージですが、同じ遺産 5,000 万円だったとしても、平成27年1月前の相続であれば基礎控除 7,000 万円以下だったので相続税申告は不要でしたが、平成27年1月以降では基礎控除 4,200 万円となり、相続税の申告が必要になってきてしまうのです。



申告対象者は倍増

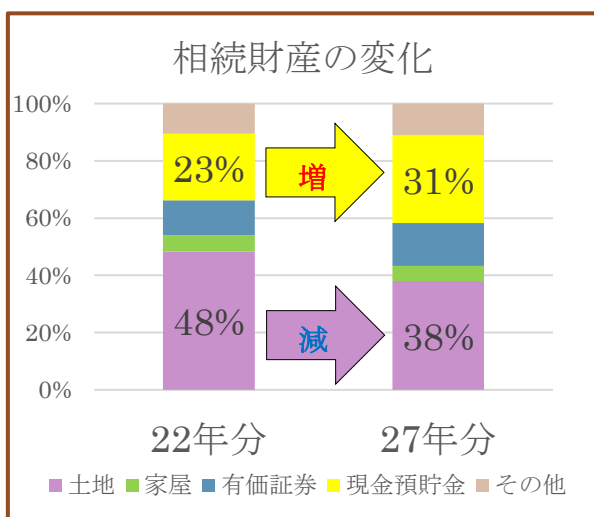
基礎控除が引き下げられたために相続税の申告対象者が増えるわけですが、どのくらい増えたのでしょうか。国税庁から統計が出ていますが、今までは

4%台だった相続税の課税割合が、直近（平成27年度）では8%、なんと倍になっているのです。

ちなみに、これは全国平均のお話。地域によってバラツキがあり、課税割合が最も高いのは東京都です。土地が高いというのが大きく影響しています。課税割合、全国平均の8%に対し、東京都では15.7%。こちらも倍に近い水準です。23区内では16.7%とされ、およそ6人に1人が相続税申告の対象になってきます。今までと違い、他人事ではなくなっています。

やっぱり信用できるのはお金??

現金に限らず、土地や建物、株など遺産全体に相続税はかかってきます。相続税で申告される遺産の内訳も発表されているのですが、ここ5年で次のように変化しています。次の表を見てみましょう。



相続財産（遺産）でもっとも大きな割合となっているのが、土地です。次いで大きいのは、現金預貯金です。直近の調査結果では、31%となっており、5年前と比較して割合が大きく増加しています。一方の土地は、48%から38%に低下。

やはり不安なこのご時世、頼れるのはお金、ということでしょうか。

お金と相続税

相続税は遺産全体にかかってくるわけですが、単純に買った金額で評価されるわけではありません。相続税申告のために特別な計算を行います。たとえば、5,000万円で買った土地が、相続税評価では1,000万円と評価されることがあります。一方、現金預貯金はそのままの金額でしか評価されません。相続税のことを考えると、現金預貯金で持っているのが良いのかどうか、ということも判断のひとつになってきます。

課税対象者も増えている今、相続対策は重要です。ご不安な点があれば、石島会計にご相談下さい。



小江戸「川越」へ遠足



(文章：内藤夕子)

池袋から東武東上線快速で約30分。

思っていたよりおれなり近かった「川越」へ行ってきました。

想像していたより、とつても大きな駅に到着。そして人だかり。

バスに乗って、出発～



ランチ

まずはランチ。

出発が遅くて、川越に着いたのは午後だったんです。

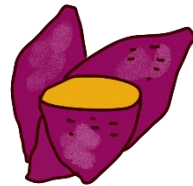
考える間もなく、吸い寄せられて入ったお店。

「メニューはこれだけです」、ノツしかなく強制です。

川越といえば、サツマイモ。

サツマイモの釜めしです。

おいしく頂きました。



時の鐘



パンフレットなどに必ずと言っていいほど載っているのが、観光客としては「ニニは外せない」と「時の鐘」へ。

初代の鐘は、1627～1634年の間に作られたとされ、現在の鐘は1894年に再建されたもので、高さ約16メートルだとか。

1日に4回、鐘の音が聞けるそうですが、残念ながら聞けず…どんな音なのでしょうか。気になる…

菓子屋横丁

ニニも目的のノツ、時の鐘から、すぐの所にある「菓子屋横丁」に入ると大混雑。

ニニであっちこっちに入って時間も掛かるはず…が、

とつてもない混雑につき、流れに逆らえず、ほぼ横目で見るだけで悲しく通り過ぎました。

長い麩菓子(80cmや95cm)が目に入り、ちょっと惹かれてしまいました。持っただけで帰るまでにゴロゴロになりそうで諦めました。



喜多院

出発の時に乗ったバスで、この「喜多院」で降りるお客さんが多かった事を思い出し、「喜多院」へ。

歩いて向かったのが、途中で方向が不安になり、地元の方らしき人に伺ったところ、近道を教えてもらいました。

正面から入るのではなく、裏からの道でした。

その裏の入口に渡してあった橋の名前が「どろぼうばし」

「どろぼう？」じっくり見直しても「どろぼうばし」。

昔、境内であれば町奉行には捕まらないと知っていた泥棒が、この橋を渡り逃げ込んだのに、寺男に捕まってしまい、木師さまにお参りし悔い改め善人になった、と由来が伝わっているそうです。



川越城

江戸の北の防衛城として重要視されていた「川越城」。

本丸御殿が現存している2城のうち1城。

完全な形で残っているわけではないのですが、貴重です。

家老詰所も移築され残されていて、リアルな家老の人形達の会議中らしき姿を見ることが出来ます。

風情ある中庭を眺めることができる長い縁側では、ずらりと観光客が座り込んでいたので、マネして座ってきました。



三芳野神社



川越城築城により川越城内に取り込まれた三芳野神社。

わらべ歌「とおりゃんせ」の発祥の地とされ、草木に隠れぎみでしたが大きな石碑も建っていました。

社殿は工事中で、幕や鉄板で覆われていたのが残念でした。

当時、庶民は気軽に参拝できず、帰りに厳しいチエツクがあったので「行きはよいよい帰りは怖い」だそうです。

怖いチエツクって、どんなチエツクだったんでしょうね。



聞けなかった「時の鐘」の音色、気になって仕方ない。また行って二よつ。

